



Lend a Hand

Prêter main-forte
Hilf auch Du
Tendi la mano
手を貸そう
이웃에 도움의 손길을
Dê a Mão ao Próximo
Una Mano Solidaria
Sträck ut en hand

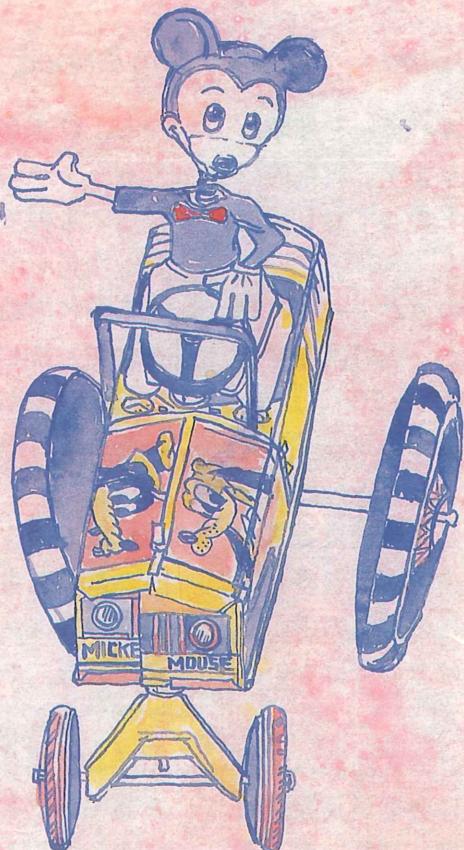
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2003–2004

ガバナー月信

No.
7

ガバナーメッセージ	2	第1回クラブ委員長会議	12
地区大会を終えて	4	2005-06年度RI会長ノミニー決定	13
地区協議会開催のご案内	8	保健関連委員会新設	13
2004-05年度ガバナー補佐ご紹介	9	広報・雑誌合同委員長会議	14
東尾張分区IM開催のご案内	10	文庫通信	14
2005国際博について	11	出席報告	15
国際大会情報	12		

1月は、ロータリー
理解推進月間です。



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760 2004年1月1日発行

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 豊島 德三
〒491-0873 一宮市せんい2-5-11 豊島株式会社 一宮本店内
TEL 0586-75-7071(代) FAX 0586-77-1581
E-mail : governor03-04@rotary2760.org

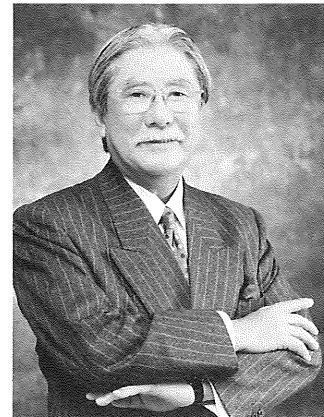
1
月

ガバナーメッセージ

Governor Message

謹賀新年

第2760地区ガバナー 豊島 徳三



*Seasons Greetings
and
A Happy New Year*

근하신년
恭賀新禧

*Meilleurs Voeux
pour
La Nouvelle Année*

*Buone Feste
e
Felice Anno Nuovo*

*Felices Fiestas
y
Prospero Año Nuevo*

*Frohe Festtage
und
viel Glück im neuen Jahr*

カレンダーも新たまり、地区ガバナーを拝命して約6ヶ月が過ぎようとしております。実質的には「巨大な山々は過去の山頂」となっており、一息いれた段階です。

それは、一年前、昨秋東京でのガバナー・エレクトのセミナーに始まりましたが、当時国際ロータリーの知識・認識の不足に愕然たる想いでした。

アナハイムでの国際協議会で世界のロータリアンの拡がり、マジアベR I会長エレクトの熱意溢れるスピーチに感動し、勉強不足に忸怩たる想いであった事を思い出します。多少、文献資料も取り寄せ、ロータリアンの先輩方との対話の中からロータリーの本質に少しあは近づけたのではないかと自分を慰めている今日です。

その後、ペツツ、地区協議会、公式訪問、地区大会、定められた公式行事、更に各委員長会議は優れた会員の皆様のご協力、後押しがあってこそ乗り越える事ができた山頂であったと感謝の気持ちで一杯です。

中でも80クラブ、38ヶ所の公式訪問は本当にいろいろ教えられる所はあってもなにもお役に立たず、申し訳ないと、自らの至らなさを痛感しております。例会のなかにこそ本当のロータリーの奉仕、会員の活動の原点を見た想いで一杯です。

各々のクラブの生い立ち、為人、特徴、D.N.A.慣習などなどは素晴らしい資産であり、一つ一つ

申し上げませんが、その都度感動を憶えました。

ロータリーの根源は画一的に高い姿勢から押しつけるものではない、という事を実感し、あくまでも会長を中心に、理事会による、会員の意志による奉仕活動、クラブ活動こそあるべき姿であると確信しました。

時には厳しいご発言、ご叱声も戴きましたし、心温まる対応もして頂き涙するケースもありました。

一度を除き全て車による行脚でした。期間は7月29日の名古屋ロータリークラブから始まり10月31日ホームクラブ 一宮北ロータリークラブで終えました。その距離約2,400km、鞄も一つで靴も一足で過ごさせて戴きました。

そこで感じた事は、義務感で務めていたら多分キレイていたと思います。

少しでも人の為、クラブの為、ロータリーの為にさせて戴く事を幸せに感じ、恵まれていると思う気持、手を差しのべられる事の満たされた心、この充実感こそ大切に、という事を教えられました。

又、文献・資料より何よりも優るのはお一人お一人のロータリアンのお顔を見、手を握り、対話であるという事も悟りました。

後半の6ヶ月も一所懸命盡して参ります。何卒宜しくお願い申し上げます。

地区大会を 終えて

RI会長代理 山田 三郎



RI会長代理挨拶 第1回目

国際ロータリー第2760地区2003～4年度の地区大会が豊島徳三ガバナーの主催によって、金の鱗が燐然と輝く名古屋城の畔、ウエスティンナゴヤキャッスルにおいて、玲瓏と響き渡る「清和の鐘」の音に依って、国際ロータリー第2760地区地区大会は、愛知県知事神田真秋様を始め、多くの来賓の皆様、そして先輩パストガバナーを始め多くのロータリアンの参加の元に、厳粛にして、盛大に開催されました事を心からお慶び申し上げます。

日本で4番目に創設された名門名古屋ロータリークラブを核として、発展して来られた愛知県下の各クラブの伝統と格式ある貴地区へ出席出来ました事を、最高の慶びと共に、私をこのように素晴らしい地区へRI会長代理として出席するよう招聘頂いたRI会長に心から感謝致します。

只今豊島ガバナーよりご懇意なご紹介を頂きました、ジョナサン B.マジアベRI会長代理として出席しました、RI第2650地区の京都から参りました山田と家内でございます。

ジョナサン B.マジアベRI会長ご夫妻の代理と申し上げたいのでございますが、悲しいかなジョナサン B.マジアベRI会長が最も愛され、最も信頼されて居りました、アデ夫人が、それも年度初めの直前6月6日に逝去されました。RI会長としてこれから、世界に向かって重大な責任を果たさなければならない重要な時期に最も大切なご令室アデ夫人を失われたと言うことは、惜しみても余りある事であり、悔やんでも悔やみ切れない事であろうと拝察致します。

又私に取りましては、1997～98年度ガバナーとしてアナハイムに於いて共に勉強した同期のガバナー、当地区犬飼栄輝様にお会い出来ないと言う事は寂しい事であり大変残念に思って居ります。

なぜか私は15～6年前から2760地区に強い関心を持っておりました。第2650地区は京都・滋賀・奈良・福井を擁する最も大きな地区です。しかし、2760地区のテリト



リーは愛知県1県です。

例えば1988年度15年前ですが、京都テリトリーはクラブ数72、愛知県61、会員数 京都テリトリーは5339名、愛知県4993名 京都が446人多かった。出席率も京都98.58%愛知県98.54% 0.04%の僅かの差で愛知県を抜いて居りました。それが10年後の1998年度、京都はクラブ数91、愛知県76、会員数 京都6400人 愛知県6400人と愛知県は京都・滋賀・奈良・福井を追いこされる事となり、出席率においては、京都97.70%愛知県98.17%完全に京都を抜かれ、6400人と言う多くの会員数を擁する地区としては、驚異的な発展であります。2003年、クラブ数京都94 愛知80 会員数 京都5619人 愛知県5678人出席率に於いては京都93.95%愛知県95.90%特に1.95%の差をつけて素晴らしい発展を遂げて来られました。ロータリーの友に発表されます、会員数 出席率の第2650地区と第2760地区については、このように強い関心と、経緯について驚きの目を持ってみて居りました。

この事1つにとらえても、京都・滋賀・奈良・福井の4府県が愛知県1県に先を越されて行く姿、そしてその発展ぶりは、誰もが関心を強めて来た所です。その秘密は何処に在るのか。その要因は那辺にあるのか。を知りたくて、第2760地区へ一度は来てみたかった地区です。

犬飼ガバナーから招待状を頂いた時も丁度ガバナー訪問の最中で来る事が出来ませんでした。

そんな矢先ジョナサン B.マジアベRI会長より第2760地区へRI会長代理として出席するよう招聘を受けた時は、犬飼ガバナーの天からのご指示か、はたまたジョナサン B.マジアベRI会長が、第一声「手を貸そう」とのテーマと「家族が全て」と極言された理念に感動を覚えたからであります。

今一つ私に取って素晴らしい情報として、「ロータリーの友」に掲載されていた、瀧 義孝さんの「豊島徳三ガバナー」の紹介で、冒頭「21世紀のRI創出の使命感に燃える男」と大書され「この厳しい時代こそ日本人の礼節と国際的視野と時代的方向感覚を有して居られる豊島さんが望まれる」と紹介され、豊島ガバナーご自身は自己紹介の中で、特に私の心を打ったのは、『国際ロータリーも100年の歩みの中で、「Something newが求められ

ている。」と国際派ガバナーとして、確信を持って述べられて居りました。

私はこの時、二つの事が頭をよぎりました。先ず ポール ハリスを思い出したのです。彼は1911年に提唱された「He profits Most Who Serves Best」について、強い意見や異論が続出し、極論すれば、「報われる事を前提に奉仕するのか、特に日本人の間でも純粹に奉仕するのは自己犠牲であって、報いを求めるものでは無い」と議論された。

一方「無私の奉仕が理事会で採択された。」

たまたまポール ハリスが1935年マニラ大会の直前に、日本に立ち寄った時、多くのロータリアンが多分ポール ハリスに詰め寄ったのではないか。「決議23-34決議」にはロータリーは自己の為に利益を得ようとする欲望と、他人に奉仕しようとする義務感とそれに伴う、衝動との間に常に起る争いを、和解させ様とする人生の哲学である。この哲学は超我的奉仕哲学であり「最もよく奉仕するもの、最も多く報われる。」という実践倫理である。

そこでポール ハリスは、マニラの大会で「He profits Most Who Serves Best」にふれ、こう言っている『profitsはドルでもセントでも無く「人生のSomethingである』と強く強く述べたと言われる。ロータリーを創設して30年ポール ハリスが到達した「人生のSomething」とは一体何だったのか。

今一つ思い起こされたのは、15世紀の末、イスパニアが海洋探検に大活躍した頃、イスパニアの貨幣に「Plus Ultra」(プラス アルトラ)と深く刻み込まれて

いたと言う。

(プラス アルトラ)とは「その向こうに何かある。」と言う意味であり、ガリレオ ガリレーが地動説を唱えて、牢獄にぶち込まれるとする地動説は未だ信じられない時代、イスパニアの海洋探検に漕ぎ出す彼等は、将に命懸けであった。唯そんな状況の中でこの一句には、無限なるものへの強烈な憧れと人智では、諂ひしれない、地平線の向こうに何かある。新世界発見への情熱と希望が込められていたのではなかろうか。

人間のする事、為せる事、この世に起る事、起った事には、常にその向こうには、未だ何かある。人類が歩んで来た道、これからも歩もうとする道は、遠く険しく、永遠に限り無く、科学も技術も一歩進めば、更に一歩と果てしない道に

豊島徳三ガバナーの「Something new」がポール ハリスの「人生のSomething」と二重写しになり、イスパニアの貨幣に刻み込まれた「PLUS Ultra」(プラス アルトラ)と重なり合って、私は豊島ガバナーが、ロータリーに賭けて来られた真摯な情熱から湧き出た理念であり、国際ロータリーの永遠の表題になるのではないか、と強い感動を覚えたから故に、当地区へRI会長代理として出席する事を楽しみにして参りました。

8月9日と繰り広げられる、地区大会はジョナサン B.マジアベRI会長が強く強く提唱された「手を貸そう」それは「家族が全て」の理念のもと「あなたのクラブに手を貸そう」「あなたの天職に手を貸そう」「あなたの地域に手を貸そう」「あなたの世界に手を貸そう」を会員の皆様と共に勉強出来ます事を大変楽しみにして居ります。

RI会長代理挨拶 第2日目

地区大会も2日目を迎きました今日、私は驚きました。本日会場に入るなり多くのロータリアンで、会場が溢れんばかりの熱気に驚いた訳です。大体どこの会場でも一日目は会場一杯の出席が、ひどい所は2日目には、半分になる場合があります。その時は、大変淋しい思いをするのですが、当地区大会は、第1日目よりも、今日の2日目の方がこんなに多くのロータリアンの出席を得て、開催されます姿を、将に昨日も申し上げましたように、ここ10年間目覚ましい発展を遂げられて来た真髄を目の当たりにして、感激を致しておりました。

豊島徳三ガバナーより、RIテーマについて、ご説明があった事と思いますが、ジョナサン B.マジアベRI会長は「Lend A Hand」「手を貸そう」と力強く提唱され、その冒頭に「家族が全て」と訴えられました。

「あなたのクラブに手を貸そう」家族のように。
「あなたの天職に手を貸そう」家族のように。
「あなたの地域に手を貸そう」家族のように。
「世界に手を貸そう」人類みな家族のようだ、全てが家族。
ジョナサン B.マジアベRI会長はそう訴えておられます。



マジアベ会長は「家族が全て」それが自分の妻であろうと、同僚ロータリアンであろうと、恵まれない他人であろうと、皆人類家族の一員であると提唱。この家族と言う概念は若い頃から、心に深く根ざしている、「家族」という概念は私に取って大変重要だ」と彼は言ってます。アフリカでは、家族の絆が大変強く、大家族の制度が存在している。「人を思いやる態度は私達の魂に染み込んでいる」これが、私が何度も申し上げているジョナサン B.マジアベRI会長の魂の叫びに聞こえるのです。アフリカで初めて、選ばれたRI会長。

ナイジェリアのロータリアンは、アフリカ出身のRI会長が選出された事を、大変誇りに感じている。と友人は言っています。「この事でナイジェリアのロータリーは大躍進を、遂げる事でしょう。ロータリーは、平等な、人々による国際的団体であり、特定の人種や宗教に依って、その指導者が選出されるものではない。」と言う事がこれまで証明されました。

私は最近国際ロータリーが、中央集権的と時々聞きますが、RI理事会の運営上この事ひとつを捕らえても、非常に平等であり、真実を追求するロータリーの素晴らしさを、如実に物語っていると思います。

そこで、国際ロータリーの活動の中で主だったものを報告したいと思います。

特にロータリー財團の実際と活動が大きな役割を果していると思われます。ロータリー財團の2002～3年度予算は1億8,460万ドル。会員数124万3,000人。クラブ数31,200。特に女性の進出は目覚ましく、女性会員12万9,000人。これは1割を超えるました。女性クラブ会長は2,000クラブを越えています。最近日本に於いても「男女参画推進共同社会」を政府自らも標榜して、女性地位向上と社会的貢献を謳っています。謂わんやロータリーに於いても、21世紀のロータリーのあり方で女性会員の増強に務めるべきでないか、と思います。

ジョナサン B.マジアベRI会長が「手を貸そう」RIテーマと同時に「家族がすべて」と述べられておりますが、私はロータリーの1番最初の家族に思いを馳せてみます時、ポール ハリスの家族を思い起します。

ポール ハリス3才の時。一家離散と言う、悲惨な事件が起ります。父の事業の失敗に依って、祖父 ハワード ハリス 祖母 ラステイン ハリスの許に兄セシルと共に預けられます。ハリス3才の時。将に「三つ子の魂百迄」と言う、多感なハリスが受けた心の傷は大きかった、と抨察されます。

唯この不幸は、彼が後年「ロータリーへの道」で述べておりますが、父に連れられ、祖父が待つ、ウォリングフォートに辿り着いたのは真っ黒な夜中だった。その暗闇の中、かすかな光りが見えた。それは出迎えに来てくれた、祖父ハワード ハリスが掲げる、カンテラの光りだった。ポールハリスは祖父の大きな温かい手に縋って歩いた事を「私が知っている中で一番大きく、一番しっかりして、一番温かい手は生涯忘れられない」と述べています。

私はこの時、思い遣りと人の温もりを感じたポールハリスの心に、ロータリーの灯が点されたのではないか。そのように考えると、ロータリーが最初に手を貸したのでは無く、ポール ハリスは大事な大事な祖父ハワード ハリスの手をしっかりと借りた事になります。

それからロータリーはその借りた手を、永遠に「手を貸そう」と奉仕を続けて参りました。

「ロータリーが差しのべて来た手」を少し振り返って

みると。

1905年2月23日 ロータリーの最初の家族。弁護士 ポール ハリス、石炭商 シルベスター シール、鉱山技師 ガスター・バス ローア、洋服屋 ハイラム ショーレーのロータリー家族4人から始まり。

1910年ロータリークラブ全米協会へと発展。

その1年後に第一標語「無私の奉仕」が採択された。

その翌年、ロータリークラブ国際連合会 ミネソタ州ダルース国際大会。そして、1921年目覚ましい発展を遂げたロータリーが6大陸に結成され、漸く此處で名称を「国際ロータリー」という名称を採択された。その後、誇りを持って、手を貸したのは。

1945年現在の国連の創設に役員を始め50人以上のロータリアンが代議員・アドバイサー・顧問と言う重要な立場で、国連憲章の草案等の作成に参画し、力を注いだ。

教育分野に手を貸したのは、国際ロータリーに於いて、教育文化の国際交流を検討し、此處で議論された会議の精神が、基本となって、「国連教育科学文化機関即ちユネスコ」が誕生する事となった。

ジョナサン B.マジアベRI会長が四つの事項を強調されておられる。即ち 1. ロータリアン家族。 2. 保健。 3. 貧困緩和。 4. 識字及び教育の推進。

その中で保健については、1885年、国際ロータリー ポリオプラス プログラムが発表された。

1994年 国際ロータリー 西半球ポリオ根絶宣言。

2000年には西太平洋ポリオ根絶宣言。

2002年 欧州ポリオ根絶宣言。

2005年 国際ロータリー100周年には、世界からポリオを根絶すべく鋭意、皆さん方の理解と協力によって推進されて居ります。

マジアベRI会長は「最も優先されるべきは、教育である。教育を与えれば、貧困の悪循環から脱却する事ができる。」と温かい心と思い遣りの心を注いで欲しいとおしゃっています。最も身近な「手を貸す」方法の一つとして、ロータリー財團があります。ロータリー財團は、教育的プログラムとして、国際社会に手を貸しています。

その最も顕著な例として、日本人で初めてロータリー財團奨学生となった、元国連難民高等弁務官 諸方貞子さんは先日文化勲章授賞の栄に浴されました。

1996年国際ロータリー国際理解章「平和賞」を授与された時、「超我の奉仕に導かれて」と題してのスピーチの中で「私個人にとりましても、国際理解賞は特別の意義を持っています。1951年国際ロータリー財團の奨学金のお陰で私は政治学の学生としてアメリカの大学院での勉強をする事ができました。」と力強く感謝の気持ちを述べています。彼女は「第二次世界大戦の終了後、アメリカに留学しアメリカと言う国の寛大さと、国民の率直さを理解するようになった。ロータリーとの関りを通じて地域社会での奉仕の大切さを学びました。ロータリー

の「超我の奉仕」に深い感銘を受けそれ以来この感銘が私を導いて来ました。」その精神が、国連難民高等弁務官としての重要な任務を成し遂げる事が出来たと思われます。

その後、彼女の影響は大きく、私の一番身近かな福知山ロータリークラブから、財団奨学生として「夢を実現させてくれたロータリー」と感謝し乍ら、吉田典子さんは国連難民高等官事務所のジュネーブ本部に於いて、多くの難民に手を差しのべています。

ちなみに2004年に大阪・京都で開催される基調講演に緒方貞子さんが出演される事が、昨日決定しました。ご期待頂きたいと思います。

今一つ財団法人ロータリー米山記念奨学金について、触れておきたいと思います。日本のロータリークラブ創立に多大の貢献をされた、米山梅吉翁の功績を記念して創設された米山基金から発展して、今日他に類を見ない奨学金。

それは、奨学金を支給するだけで無く、奨学生一人一人に世話をとカウンセラーを決めて、彼等の色々な相談相手になっている事です。これはロータリー独特の制度であります。

私がガバナーを務めました1997～8年度アナハイムに於いて、犬飼ガバナーと一緒にお会いしたのが、韓国3650地区より選出された、ガバナー イン・ユン・イさんは、「京都大学医学生として苦学している時、ロータリー米山奨学金を貰わなかったら私は医者になれなかっただろう。」と感謝の心を込めて語りました。

その後、彼はロータリーの奉仕の精神に促されるようにして、医学を極める事が出来ました。ロータリーに恩返しを出来る方法は奉仕の精神で医療を全うする事だと言つて、ソウルから20km程離れた小島に、産業廃棄物が捨てられるゴミの中から少しでも生活の糧にと、ゴミ拾いをする子供達数千人に、悪い環境の元で引き起こす病気や予防に毎週島に渡つて、無料で治療を施している。と聞かされた時は、胸が熱くなると共に、米山奨学金がこのように、生きていると言う実感と感動を覚えたものです。今では韓国のシュバイツワーとも言われている。彼がガバナーとなって第2650地区へも来て頂きました。

ロータリー財団及び米山奨学金について、私の身近な実例の一端を述べました。ロータリアンの皆様が日々理解と協力を頂いて居ります。奉仕の成果は世界の到る所で、多くの人々に誇り知れない成果を上げております。

教育的プログラムは、日本でこそより自覚されるべき重要な問題では無いでしょうか。近年日本の教育荒廃は目に余るものがあります。教育改革国民会議中間答申で、「物質的豊かさと平和の中で」と題して曾野綾子さんがまとめておられる一節を引用しますと、

(日本人へ)

教育問題 教育改革国民会議 平成12年7月 曽野綾

子 まとめ

(物質的豊かさと平和の中で)

近年日本の教育の荒廃は見過ごせないものがある。子供はひ弱で、欲望を抑えきれず、子供を育てるべき大人自身がしっかりと地に足を着けて人生を見る事なく、功利的価値観や単純な正義感、時には、虚構の世界（ヴァーチャル、リアリティ）で人生を知っている、と勘違いするようになった。

(善と惡の狭間で)

戦後教育の危険性は、はるか以前から意識されていたが、ここへ来て教育の欠陥の病状の重さが俄に明らかになった。戦後教育は、人間が希求するものと、現実の姿とを混同した。私達は平等を願うが、人間は生まれた瞬間から平等でない。運命においても、才能においても、生まれた土地も、私達は決して平等たり得ない。しかし私たちが、自由と平等を永遠の悲願として持ち続けねばならない。

(奉仕の志)

今までの教育は、要求する事に主力をおいたものであった。しかしこれからは、与えられ、与える事の双方が、個人と社会の中で温かい潮流を作ることを望みたい。個人の意見と自立は、自然に自分の周囲にいる他者への献身や奉仕を可能にし、更にはまだ会った事のないもっと大勢の人々の幸福を願う公的な視野にまで広がる方向性をもつべき。私達人間は、全て生かされ生きている。誰があなた達に、炊きたてのご飯を食べられるようにしてくれたか。誰があなた達に冷えたビールを飲めるように体調を作ってくれたか。そして誰が安らかな眠りや週末の旅行を可能してくれたか。私たちは誰もが、いつも、その事に感謝を忘れない事だ。

(道は厳しい)

変化は、勇気と時には不安や苦痛を克服して実行しなければならない。私たちは、決して未来に絶望してはならない。道は厳しいと人は言う。しかし厳しくなかった道はどこにもなかった。だから私たちは共通の祖国を持つあなた達に希望し続ける。 と記されています。

21世紀の日本の教育のあり方で、私は特に「奉仕の志」の重要性を取り上げられた事は、100年掛かって我々ロータリアンが積み重ねて来た、奉仕の理想が揺るぎない真理の現れと心を強くして居ります。

又機を逸にして中国に於いて「サーズ」と言う予測も出来ない病原菌の発生は、世界を揺るがす事となり、中国の国民的課題として、その恐ろしさを実証致しました。この事は、中国に於ける経済を始め多くの混乱を生み、

中国の「胡錦濤主席」をして「我々は、国民の為に奉仕しなければならない」と、かつて聞いた事のない「奉仕」と言う言葉が發せられた事は、これも又「奉仕と言う概念を導きだしたロータリーの成果」であると思われます。

以上をもって、現況報告と致します。

最後の講評

只今 司会の方から講評を述べるように紹介が有りましたが、私は講評と言うよりも、心から感謝のお礼を申し上げ度いと思います。

8日9日と2日間に涉って繰り広げて来られた地区大会に、RI会長代理として出席させて頂き感動・感動の連続でした。

当初のご挨拶で申し上げましたように、先ずジョナサン B.マジアベRI会長の「手を貸そう」を豊島徳三ガバナーは地区へ、どのようにお伝えになっているのか。それは多くの事業を推進して来られた中に、脈々と息づいて居りました。

豊島徳三ガバナーがアナハイムのミッションでヒントを得られたと言う、ロータリー ミーティング「過去の山頂は、将来の丘」はとくに圧巻でした。私が言わんとする所を全て演出されたような気がします。

ロータリーの歴史・その足跡・やがて迎える100周年に、我々先輩ロータリアンが悩み苦しみ苦渋と努力の中から導き出して発展してきたのが、今日世界に誇れる国際ロータリーであり、その成果と行動が社会に与える影響の大なるを、まのあたりにするように演出されました。

リーダーを務められた豊島徳三ガバナーを始めパネリストの皆様ご苦労様でした。

ジョナサン B.マジアベRI会長の「手を貸そう」それは「家族が全て」と言う魂の叫びが伝わって来たような思いがします。それは最も重要な位置を占めるロータリー財團に対する、理解につながったと思います。

それは、ジョナサン B.マジアベRI会長が、強調された4つの分野です。

1. ロータリアン家族 2. 保健 3. 貧困緩和 4. 識字及び教育の推進。その実施と計画には、ロータリアンお一人お一人の理解と協力が欠かせません。

国際ロータリーが発展と変化を遂げる中で

1987年RI理事会は「職業奉仕はクラブと会員双方の責務である。」と声明した時から、はっきりと行動の概念が示されました。

従来、職業奉仕に於いても ポケショナル サービスの精神に徹しておったのが、クラブも挙げて職業奉仕に取り組む事と成りました。職業人の集まりである国際ロータリーは、職業奉仕こそロータリーのロータリーたる所以であると言われています。その事を諸活動の中に生かして、限られた時間の中で存分に發揮され、名門2760

地区の真価を知る事が出来ました。それにはホストクラブをお務めになった尾西ロータリークラブ並びに地区大会実行委員会の皆さんと、昨年より心を碎き会議を重ね、「楽しく、意義の



ある、そして出席して良かった」と言う手作りの大会にするべく、努力を重ねて来られた賜物であると、ジョナサン B.マジアベRI会長に成り変わって心から感謝を申し上げたいと思います。

第2760地区の目覚しいご発展ぶりについて、その要因を充分この目で、この耳で確かめないと出席致しました私は、ロータリーに即効的特効薬は無いとしみじみと考えさせられました。当地区的目覚ましいご発展は、何時にかかるて、会員お一人お一人の理解と協力、そして何よりも、一日一日の奉仕の理想に向ってのたゆみない努力と研鑽の賜物である事を、強く深く自覺しました。

本年度は、例年ない大きな事業を推進されなければ成らない重大な年度を迎えました。

それは2004年、大阪で、関西で、開催される国際ロータリー国際大会です。世界の多くのロータリアンを迎えて日本で26年振りに実施される大事業です。

2005年には、ロータリー創立100周年を記念してのシカゴ大会が開催されます。21世紀のロータリーがどうあるべきか、それは100周年を契機に過去を振り返り今を見つめ直し、明日からのロータリーの進むべき道を議論する重大な大会です。

今一つ第2760地区に取っては、「愛・地球博」「愛知万博」になります。これは、愛知県が主体的に進めておられる国家的事業であり、第2760地区の協力と推進は当然ですが、日本のロータリアンこそが理解と協力しなければならないと思っております。

RIに於いては、100周年のシカゴ国際大会を、地区としてどのように取り組むかに期待を寄せておりますが、当地区的豊島徳三ガバナーは、愛知万博に国際ロータリー100周年を意義付けて、諸事業の推進と活動をされて居られますことは、将に時期に叶った事と感銘を深く致して居ります。

本年度の奉仕活動と三大事業への大成功を乞い願い乍ら。

「Something new」新しい何かを是からも永遠に求め続けて。

国際派、豊島徳三ガバナーのご活躍と地区のご発展をお祈り申し上げお礼のご挨拶と致します。



地区協議会の開催のご案内

ガバナー 豊島 徳三（一宮北）
ホストクラブ 春日井ロータリークラブ

ガバナーエレクト 大島 宏彦（名古屋）
実行委員長 塚本 兼光

第2760地区の2004～2005年度のための地区協議会が平成16年4月18日（日）にウェスティンナゴヤキャッスルにおいて開催されます。

地区協議会の目的は、RI細則（細則15.020）において、次のようなことが記されています。「ロータリークラブの指導者たちが、次のような点において必要な能力を育成し、知識をもち、やる気を起こすよう図ることである：会員基盤を維持、そしてもしくは増強し、地元地域社会および他の国の地域社会のニーズを取り上げたプロジェクトを実施して成功させ、プログラムへの参加と資金寄付を通じてロータリー財團を支援することである。」となっています。

地区協議会は、ロータリーの年中行事の中でも最も重要な地区会合であります。これは、次期クラブ指導者を一同に会して次年度のための勉強会をし、そこで必要な知識を授受するとともに激励を受ける大切な会合であるからです。この地区協議会において目的を達成するためのどれだけの知識を授受されたかにより、次年度のロータリーの成否が決まるといっても過言ではないかと考えます。

クラブ指導者が毎年7月1日に交代するにも

関わらず、その前後をつないでロータリーの奉仕プログラムを継続して行われるようにしていることは、地区協議会であり、このことは、極めて重要な連結点であります。

また、新指導者のみだけではなく、新しく会員になられた皆さん（入会3年未満の会員）にも参加を強く希望するところです。新会員の皆さんには良い勉強の場となりましょうし、ロータリーの「奉仕の精神」がより深く理解いただけるものと思います。

後日、具体的なご案内をいたしますので一人でも多く登録いただけますよう期待いたします。

○次年度地区指導者研修会議

日時：2004年2月27日（金）15:00～19:30

場所：名古屋観光ホテル 3F 那古の間

○2004-2005年度会長エレクト研修セミナー

（PETS）

日時：2004年3月5日（金）10:00～16:30

場所：名古屋観光ホテル 3F 那古の間

○2004-2005年度地区協議会について

日時：2004年4月18日（日）

場所：ウェスティンナゴヤキャッスル

ホストRC：春日井RC

第3回地区諮問委員会

日時：2003年11月8日（土） AM11:00～

場所：ウェスティンナゴヤキャッスル 2F

■出席者

福田PDG、田中PDG、盛田PDG
加納PDG、宮地PDG、内藤PDG
野村PDG、福田PDG、太田PDG
豊島DG、大島DGE

■オブザーバー

瀧地区幹事、安藤次期地区幹事
長谷川地区副幹事、廣瀬地区スタッフ

-----次 第-----

●豊島ガバナー挨拶

●協議事項

1) 地区大会各種委員会報告

大会決議委員会

信任状資格審査委員会

選挙管理委員会

地区大会表彰

2) 次期地区大会開催地及びホストクラブ

3) 2004～2005年度（大島年度）

ガバナー補佐候補者推薦の件

4) その他

報告事項

2004-2005年度ガバナー補佐ご紹介

南尾張分区

東知多ロータリークラブ

**加藤
知成**

生年月日 1938年9月23日
 会社名 カリモク家具販売株
 役 職 代表取締役会長
 自宅住所 〒448-0834 刈谷市司町9-35



R C 経歴 1970年1月 東知多 R C 入会
 1977~78年度 幹事
 1988~89年度 会長
 1998~99年度 南尾張分区
 分区代理
 2003~04年度 地区米山獎学
 委員会委員長

東尾張分区

犬山ロータリークラブ

**小川
征一**

生年月日 1941年7月27日
 会社名 (株)木村屋
 役 職 代表取締役
 自宅住所 〒484-0083 犬山市大字犬山字東古券31
 R C 経歴 1981年10月 犬山 R C 入会
 1987~88年度 副幹事
 1989~90年度 親睦活動委員長
 1990~91年度 会員増強委員長
 1991~92年度 幹事
 1992~93年度 資料保存委員長
 1993~94年度 青少年活動委員長
 1994~95年度 職業奉仕委員長
 1996~97年度 親睦活動委員長
 1998~99年度 クラブ奉仕委員長
 1999~00年度 地区大会実行幹事
 2000~01年度 地区大会企画委員会委員
 2001~02年度 会長エレクト
 2002~03年度 会長
 ベネファクター
 マルチブルボールハリスフェロー
 第3回米山功労者 (マルチブル)



東名古屋分区

名古屋東山ロータリークラブ

**神田
肇**

生年月日 1932年8月19日
 会社名 東海テレビ放送(株)
 役 職 副社長
 自宅住所 〒467-0011 名古屋市瑞穂区萩山町
 2-71-1
 R C 経歴 1996年 名古屋東山 R C
 チャーターメンバー
 として入会
 1996~97年度 親睦活動委員長
 1997~98年度 会長エレクト
 1998~99年度 会長
 1999~00年度 直前会長
 2000~01年度 会員選考副委員長
 2001~02年度 5周年記念実行委員長
 会員選考委員長
 2002~03年度 会員保全委員長
 広報副委員長
 2003~04年度



西三河中分区

豊田東ロータリークラブ

**梅村
正**

生年月日 1941年2月22日
 会社名 梅村工業(株)
 役 職 代表取締役
 自宅住所 〒470-0373 豊田市四郷町山畑
 130-90
 R C 経歴 1982年2月 入会
 1991~92年度 幹事
 1999~00年度 会長エレクト
 2000~01年度 会長
 2001~02年度 ロータリー情報
 委員長
 ポールハリスフェロー
 米山功労者



西尾張分区

一宮中央ロータリークラブ

**長谷川
正巳**

生年月日 1948年7月16日
 会社名 (株)東海パン
 役 職 代表取締役社長
 自宅住所 〒491-0002 一宮市大字時之島
 字下途31



R C 経歴 1986年6月 一宮北 R C 入会
 1990~91年度 親睦活動委員長
 1990年10月 一宮中央 R C へ移籍
 1990~91年度 幹事
 1991~92年度 幹事
 1992~93年度 会員選考委員長
 1993~94年度 職業分類委員長
 1994~95年度 会長エレクト
 1995~96年度 会長
 1996~97年度 ロータリー情報委員長
 2001~02年度 クラブ奉仕委員長
 第3回米山功労者 (マルチブル)
 ポールハリスフェロー

西名古屋分区

名古屋南ロータリークラブ

**山路
兼生**

生年月日 1933年1月6日
 会社名 山路整形外科
 役 職 院長
 自宅住所 〒467-0804 名古屋市瑞穂区洲雲町
 4-62-1



R C 経歴 1978年8月 入会
 1983~84年度 米山記念奨学委員長
 1987~88年度 米山記念奨学委員長
 1989~90年度 国際奉仕委員長
 1994~95年度 副会長
 クラブ奉仕委員長
 1998~99年度 会長エレクト
 1999~00年度 会長
 2000~01年度 ロータリー
 情報委員長

東三河分区

豊川宝飯ロータリークラブ

**伴
辰三**

生年月日 1928年2月4日
 会社名 T B R(株)
 役 職 代表取締役
 自宅住所 〒440-0864 豊橋市向山町字水車
 25-3



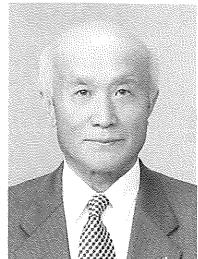
R C 経歴 1985年12月 チャーターメンバー
 入会
 1987年 ポールハリスフェロー
 1990~91年度 会長
 1996年 山功労者
 1997~98年度 地区クラブ奉仕委員
 1998~02年度 地区クラブ奉仕
 副委員長

西三河分区

一色ロータリークラブ

**鈴木
信吾**

生年月日 1936年4月13日
 会社名 鈴木園芸
 役 職 経営主
 自宅住所 〒444-0422 岐阜郡一色町大字味浜
 字東乾地67



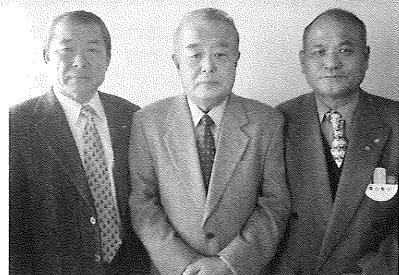
R C 経歴 1979年1月 入会
 1983~84年度 S A A
 1986~87年度 幹事
 1995~96年度 会長
 1997~98年度 理事・職業奉仕委員長
 1998~99年度 理事・青少年活動委員長
 2002~03年度 ロータリー財団
 委員長
 2003~04年度 理事・新世代委員長
 ポールハリスフェロー
 米山功労者

2003~04年度東尾張分区IM開催のご案内



.....メインテーマ.....
愛・地球博とロータリー

ホストクラブ：瀬戸ロータリークラブ



ご挨拶

東尾張分区ガバナー補佐	坪井靖治
ホストクラブ会長	澤田賢成
IM実行委員長	大竹一義

2005年日本国際博も開幕まであと1年余に迫りました。10月17日には起工式も行われ、さらに、11月19日には参加国の政府代表者会議が名古屋で開催され、その後、会場の造成工事の進捗状況を視察しました。現時点ではアメリカをはじめ百数十ヶ国・機関の参加が発表されております。このたびの国際博は、自然の叡智を縦糸に、地球大交流を横糸に、幅広い参加と交流を目的とした博覧会であり、国際相互理解に基づき愛と平和を目指すロータリーの基本理念と相通じるものであります。

R I 第2760地区では、平成13年11月の地区大会で国際博会場内に、ロータリー館（友愛の家）の設置を決議し、資金の調達と建築や運用計画が進められております。

私ども東尾張分区は、このたびの国際博の地元中の地元であります。平成16年3月のIM開催時は、丁度国際博開幕の1年前に当たりますので、「愛・地球博とロータリー」をテーマに取り上げ講演とフォーラムを行い、愛・地球博への認識を一層深めるとともに、地元からも日本、世界へ情報発信をして行きたいと考えております。

私どもホスト関係者としましては、国際博開幕を目前にして、有意義なIMにいたたく鋭意準備をしているところであります。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

EXPO会場の進捗状況

アメリカの参加も決まり、工事も急ピッチで進んでいます。

地下鉄藤が丘駅からつながるリニアモーターカーの東部丘陵線工事も着々と進み、青少年公園だった長久手会場の景色も日に日に変貌を遂げています。いよいよ万博が目の前にと言ったところです。

私どもはこの万博にいかに参加していくかが大きな課題です。

東尾張分区IM日程

日時：平成16年3月13日（土）午後

場所：ウエスティンナゴヤキャッスル

プログラム概要

12：45	登録開始	
13：30	開会	
14：00	特別講演 「愛・地球博の成功をめざして」 2005年日本国際博覧会協会事務総長 中村利雄氏	
15：10	フォーラムの部 ○基調講演 「ロータリー館（友愛の家）の建設と利用計画」 地区国際博委員長 内藤明人 ○パネルディスカッション 「愛・地球博にどう関わるか」 アドバイザー 地区国際博副委員長 岩間俊夫 同 坂田 隆 パネリスト 小牧、豊山城北、尾張旭、愛知長久手、瀬戸北、瀬戸RCより計6名 ○質疑応答、ガバナー講評 ガバナーエレクト紹介等 懇親会	
17：00		
17：30		

2005年国際博について

RI万博委員会委員長 内藤 明人

2005年に行われます「愛知万博」と「同ロータリー館」について話を申し上げたく思います。

ご案内の様に、「愛知万博」は正式の名称を「2005年日本国際博覧会」略称「愛知万博」、愛称「愛・地球博」といいます。

総裁「徳仁皇太子殿下」、会長「豊田章一郎」であり
テーマは「自然の叡智」(Nature's Wisdom)

サブテーマ

- ①宇宙、生命の情報 (Nature's Matrix)
- ②人生のわざと知恵 (Art of Life)
- ③循環型社会 (Development for Eco-communities)

開催期間：2005年3月25日～9月25日

会場：愛知県瀬戸市、長久手町、

豊田市の約173ha

(海上の森、青少年公園、

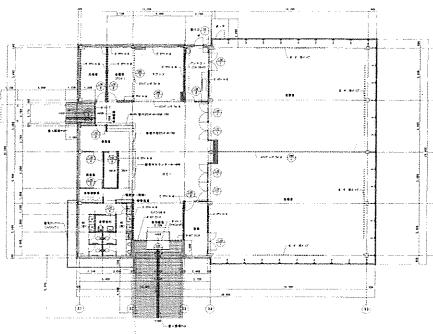
科学技術交流センター予定地)

この博覧会は日本では30年前に大阪で開かれました。初めのパリ博は世界の文化、産業革命の幕開けになり、大阪万博はその前の東京オリンピックと共に戦後の日本の経済大国として証の場となりました。また、2010年に開かれます上海万

博は2008年の北京国際オリンピックと共に中国の近代大国としての証の場としようと意気込んでおり、上海万博は愛知万博の先に開かれるのではないかと疑う程の力の入れようです。

愛知万博は「美しい地球と未来社会のために地球市民たちの大交流」の場として開かれます。二つの地区に分け、青少年公園地区に8ゾーン、海上地区は3ゾーンに分け、ロータリー館は前地区にて迎賓館と共に北ゲート近くセンターゾーンに隣接して造られます。

会場への輸送は「藤が丘地下鉄駅」から東郊丘陵線「青少年公園駅」まで日本初めとなる磁気浮上式リニアモーターカー(HSST)が新設されつつあります。



次にロータリー館建設について少し申し上げます。

この万博は「自然の叡智」を巡る「地球大交流博覧会」であり、ロータリー運動の趣旨と数多く通ずる所があり、当RI2760地区としても積極的に参加しようという決議を戴き、ロータリー館設置に努力している所であります。また、2005年は国際ロータリー創立100周年にあたりその記念事業等も兼ねたいと思っています。

図で示されております様に、左の半分が管理棟であり、右半分が集会場（150人）であり、管理棟ではRI100年の記念展示、メーニング受付、憩いの場等であり、集会場でロータリー例会が行われ、当地区では各クラブ2回は開いて戴くようお願いしています。夜間例会も可能です。この具体的なことにつきましては、各クラブで各分区から万博委員会に夫々出席して戴いておりますので、宜しくお願いします。

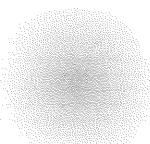
一方、集会場の利用につきましては、ロータリーで使用時間以外の時間を一般の方に出会いの場所として使用させて欲しいという万博協会からの申出もあり、了承しています。

当建築物は、協会側の要請で万博終了後は撤去するようにとの話もあり、機能的な建築となります。

尚、建築費は2億6千万円位にしほって考えております。当地区のロータリアンとしてはこの2年は一会员年10,000円ずつお願いしております。また不足の時に考えるという言葉も多くの方々から戴いており、是非宜しくお願いしたいと思います。

尚、この愛知万博についてのムードは、昨年事務次長（現事務総長）に経産省で局長をしておられた名古屋出身の中村さんが着任され、当地方並びに全国的にムードが出てきました。また、ロータリークラブとしても県内各クラブ巡らせて戴いておりますが、大変協力的なクラブが多く、むしろ全部になってきております。是非このロータリー館の建設およびその活用が上手くゆきますよう今後物心両面のご協力をお願いする次第です。

国際大会情報 年頭のご挨拶



国際ロータリー2004年国際大会（関西）

実行委員会委員長 近藤 雅臣

祝2004年 ついに関西で初めての国際大会が開催される年がやってきました。

皆様 明けましておめでとうございます。

2002年4月に実行委員会が発足して以来、ロータリアンの皆様には並々ならぬご協力を賜り、お蔭様で何とか最後の登り道にまでたどり着くことができました。まだまだ険しい道のりが残っていますが皆様のお力を借りながら最後の力を振り絞ってご期待に沿うよう努力するつもりです。何卒宜しくお願ひ申し上げます。RYLA, RAC, YEOについては、昨年5月の理事会で今年度は公式行事を中止するということに決定されました。また、10月の理事会でマジアベ会長、菅生理事、田中理事のご助力で公式行事として復活させることに決定されました。また、その後、大阪ドームの借用期限を1日短縮することもできるなどお蔭様で明るい材料も増えつつあります。しかし、開会式、閉会式のプログラム、エンターテインメントについてはあくまでRI主導で、関連業者もRI推薦業者に決定し、一度は日本側の要望は全く叶えられませんでした。ただ、

この結果に対し、千委員長から異議を申し込んで頂いたおかげで、内容についてこちらの意見をできるだけ尊重するというところまで話し合いました。海外からの参加者はもとより大多数を占める日本人の参加者に何とか満足頂けるような大会に仕上げてゆきたいと念願しています。大会登録者数については、この原稿を書いている時点ではまだ期待するほどではなく心細い想いです。海外の姉妹クラブなどに大いに呼掛けで頂ければ幸いです。また、とくに近隣の韓国、台湾の皆様への呼掛けをお願い致します。皆様と力を合わせて心にのこる素晴らしい国際大会に仕上げ、世界のロータリアンと手をとりあい「Lend a Hand」の心を世界に発信する場にできればと願っています。大会の主役はロータリアンの皆様です、私たちはあくまで裏方に徹し、ひたすら大会の成功を祈って最後の上り坂を全力を上げて駆け上ります。力強い皆様の後押しをお願い申し上げます。関西で、世界の、そして、日本中のロータリアンと感動を伝え合いましょう。

第1回クラブ奉仕委員長会議

場所：名鉄グランドホテル

地区クラブ奉仕委員会 委員長 片山 主水

豊島ガバナーをはじめ河合ガバナー補佐、瀧地区幹事、林地区副幹事の陪席のもとに、松前地区ロータリーの友委員、光岡会員増強委員長、塙本地区広報委員長、浅野地区インターネット委員長の参加を得て、各クラブクラブ奉仕委員長69名が出席して開催された。

ロータリーの目的は、1つには、クラブは会員に奉仕の理想の精神を涵養してその精神の適用を奨励し、会員はその精神を学習して実践し、2つには、クラブは会員の円満なる人間形成を図り、会員自らは自己を研鑽することにある。

クラブ奉仕委員会のなすべき職掌は後者に関連し、そのためにはできる限り会員同志が生の顔をじかに合わせ心を通わせることが不可欠であり、その意味で週に1度の例会は出会いの場であり親睦の場であり研鑽の場であって最も大切な場である。同好会等の例会外の親睦活動もこれに劣らない。

地区クラブ奉仕委員会は、以上のことと強調

し、次に各クラブの「魅力あふれるロータリー」作りのために、クラブ奉仕の全般についていろいろな考え方、事例、メニューを参考として提供し、更に本年度強調事項の1つである「ロータリーファミリーへの心遣い」について、新設のロータリーファミリー委員会（委員長井上穂）から各クラブに新年度プラスワンの行動計画をお願いし、最後に豊島ガバナーより、新年度のガバナー方針等に関する講話に続き、各クラブのDNAを損なわないようクラブ奉仕に努力していただきたいとの講評を得て終了した。





2005-06年度RI会長ノミニーは カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

2005-06年度国際ロータリー(RI)会長指名委員会は、去る9月8日、同年度会長ノミニーに、スウェーデン・イエーテボリRCのカール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏を、指名しました。

■経歴

ステンハマー氏は、国際的な食品ブローカーであり、ガストF.ブラット社の元オーナーです。また、数社の会社の理事、地元の学校の理事長を務めました。

■ロータリー歴

ステンハマー氏は、1974年にロータリーに入会。ガバナー、RI理事(1996-98年度)を歴任しました。

現在、同氏は、ヨーロッパRIBI恒久基金委員会委員長、そして識字および教育推進グループの総コーディネーターを務めています。また、ポリオ撲滅提唱グループ委員、ポリオ・プラス担当顧問であり、本年8月にスエーデンで開催された国際平和と寛容に関するRI会長主催祝賀会議では、議長を務めました。

保健関連委員会新設

保健関連委員会 委員長 田中清隆

本年度より新設された「保健関連委員会」の活動指針について、RIから以下のような資料が、ゾーンコーディネーターを通じて送られてきた。

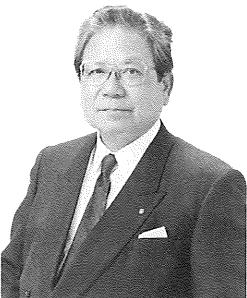
■私達の任務と目標(一部省略)

- 1) ポリオ撲滅 - 世界中のポリオ撲滅運動を支援する。
- 2) HIV/AIDS教育 - その土地の文化や慣習に適したHIV感染予防教育プログラムを考案する。
- 3) 水処理及び水質管理 - 安全な水を確保する活動を支援する。
- 4) 基本的健康管理の問題 - その地域と住民に応じた健康と栄養についての啓発と情報提供を行う。
- 5) 失明予防 - 失明に至る全ての危険性を除外する。

以上のうち、1)と3)はポリオプラス及び、環境保全委員会の分野である。

2)は日本でも流行が危惧されるエイズが取り上げられている。HIV感染の原因の大半は性行為であるので、その予防には、数多くある性感染症(STD)についての知識を啓発することが重要である。

そのため今年度の事業の一つとして、ミニパンフ「性感染症とは?(愛知県保険医協会作製)」を新世代、ライフ、インタークト、ロータークト各委員長に依頼して、集会等の機会に配布してもらうこととした。



4)について、これをロータリアン会員を対象とするならば、健診ドッグのすすめや、今話題のP.S.A(前立腺腫瘍マーカー)の普及などが考えられる。

5)の失明についてであるが、わが国の成人失明の原因としては糖尿病が最多である。糖尿病の予防と早期発見に力を注ぐことが大切であろう。

因に、あまRCでは、以前から、医歯薬系会員全員による保健委員会(委員長以外は他委員会委員を兼任)を発足させていて、以下の活動を続けている。

- ・年2、3回、保健医療に関する卓話を企画。
- ・興味のある医療情報を、「メディカルトピックス」として週報に掲載。
- ・年1回、尿糖検査テープを例会で配布し、便用判定法を説明する。
- ・会員及び家族の健康相談、病院への紹介など。
- ・地元ボーイ・ガールスカウトの夏期キャンプ前に、委員会医師による健康診断と救急箱の寄贈。
- ・例会では喫煙テーブルを設置し、例会中の節煙を期待する。なお音楽例会では全席禁煙。

なお今後、地区保健関連委員会から、時宜に応じた、保健医療関係の情報を各クラブ保健委員会に配送いたしますので、例会や週報等ご利用いただきたいと思います。

各クラブの保健委員会には、地域と自らのクラブに応じた活動をすすめていただくことをお願い致します。

広報・雑誌合同委員長会議報告

日時：2003年10月24日(金) 14:30～

場所：名鉄グランドホテル

地区広報委員会 委員長 塚本 錠男

当日は豊島ガバナー、内藤パストガバナー、河合ガバナー補佐、瀧地区幹事、松前ロータリーの友地区委員をお迎えし、72RCの広報・雑誌の委員長110名が出席し、広報活動の必要性と月刊「ロータリーの友」の一層の普及と中部経済新聞社のRCコーナーの活用などについて討議がなされ、又、2002～2003年度地区R I 功労賞を受賞されました名古屋千種RC大口直前会長より受賞に至る事業計画の説明がなされました。又、内藤パストガバナーより、「2005年日本国際博覧会「愛・地球博」の成功を目指して」と題してお話があり、併せてロータリー館の説明と活用方法についてお話があり、その後、日仏シャンソン協会 日本支局長 加藤修滋様より、愛知万博のイメージソングとして親しまれているフランス生まれのシャンソン「ラボーラ・ムッシュ・ルモンド」地球讃歌についてのお話の後女性お二人による歌(Type A.ルモンド)で楽しいひとときを過ごしました。月刊「ロータリーの友」の編集方針についてロータリーの友編集長 二神典子様は女性で初めて「ロータリーの



友」の編集長になられた方だけに、広報出版に関して大変造詣の深い方であります。二神様は我々ロータリアンはもっと「ロータリーの友」をいつも身近な所に置いていただき、ロータリーの友にもっと親しんでいただきたい、また、当2760地区は「ロータリーの友」への投稿が全体から見れば少ないと私は思います。どうか、これからはどしどしあてください。「ロータリーの友」はロータリアンの皆様のお役に立つ情報がたくさん入っています。本棚に大事に飾ってあるのではなく、親しみを感じてロータリアンの皆様がいつも持ち歩いて下さり、ボロボロになってしまいます・・・そんな「ロータリーの友」でありたいと思っていますと述べられました。

文庫通信

195号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして、1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧はもちろん、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介をいたします。



先輩ロータリアンの文献

- ◎ 「満州におけるロータリー運動の展望 他」
佐々木孝三郎 1974 27p (遺稿集から)
- ◎ 「満州のロータリーのことども (インタビュー)」
佐々木孝三郎 ロータリーの友: 1968.9月 4p
- ◎ 「戦前の日本ロータリー」
直木太一郎 1974 25p
- ◎ 「日本ロータリー史」
直木太一郎 1971 37p
- ◎ 「ロータリアン読本」
直木太一郎 神戸RC 1970 41p
- ◎ 「ロータリー日本伝来のルーツとその後の経過 その1」
平島健次郎 1982 28p
- ◎ 「温故知新 ロータリーの今昔」
遠藤健三 1987 7p
- ◎ 「鼎談 ロータリーは紳士の道場
—戦前、戦後のロータリーを回顧して」
絹川清、石川芳次郎、鳥養利三郎
ロータリーの友: 1967.12月 5p
- ◎ 「日本におけるロータリーの歴史」
阿部謙夫 1976 11p (D.350年次大会講演)
- ◎ 「日本ロータリー再建の頃」
ジョージR.ミーンズ
ロータリーの友: 1976.9月～1977.4月 27p
- ◎ 「火種はみんな持っている (抄)」
松本兼二郎 1969 32p

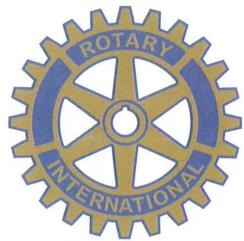
[ロータリー文庫]

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp> 開館／午前10時～午後5時 休館／土・日・祝祭日

会員数 及び 出席報告 (平成15年11月分)

分区	クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	11月出席率	女性
		2003年 7月1日	2003年 11月末日	11月	累計	11月	累計			
南尾張分区	半田	68	69	0	2	0	1	4	100.00%	4
	常滑	58	58	0	0	0	0	4	93.37%	0
	東海	56	55	0	1	0	2	4	90.46%	2
	東知多	27	28	1	1	0	0	5	99.04%	0
	半田南	54	55	0	1	0	0	4	97.22%	1
	知多	33	33	0	0	0	0	2	77.28%	0
	大府	28	29	0	2	0	1	4	88.00%	0
西尾張分区	7RC	324	327	1	7	0	4		92.20%	7
	一宮	80	80	0	2	0	2	4	99.67%	0
	津島	78	78	0	1	0	1	4	97.26%	1
	尾西	40	40	0	0	0	0	2	93.75%	0
	一宮北	61	62	0	1	0	0	4	95.75%	0
	稻沢	61	64	2	3	0	0	4	96.19%	0
	あま	91	93	0	2	0	0	2	98.88%	0
	西春日井	38	37	0	0	0	1	4	94.15%	1
	尾張中央	48	49	0	1	0	0	3	96.45%	0
	一宮中央	61	61	0	0	0	0	4	98.73%	5
東尾張分区	9RC	558	564	2	10	0	4		96.76%	7
	瀬戸	82	84	1	2	0	0	4	100.00%	4
	犬山	87	86	0	3	0	4	4	99.36%	0
	江南	64	65	0	1	0	0	4	90.72%	1
	小牧	74	75	0	1	0	0	4	86.50%	2
	春日井	75	73	0	0	1	2	4	98.95%	4
	尾張旭	34	34	0	1	0	1	4	99.26%	0
	名古屋空港	52	51	0	0	1	1	2	100.00%	0
	瀬戸北	75	75	0	0	0	0	4	100.00%	3
	岩倉	21	19	0	1	0	3	4	100.00%	0
	豊山-城北	33	31	0	0	0	2	4	97.22%	1
	愛知長久手	23	25	2	5	0	3	4	77.25%	1
	11RC	620	619	3	14	2	16		95.39%	16
西名古屋分区	名古屋	195	202	1	9	0	2	4	95.51%	0
	名古屋西	112	113	0	2	0	1	4	92.15%	0
	名古屋南	114	118	0	6	1	2	4	92.96%	0
	名古屋みなど	89	91	0	2	0	0	4	98.54%	0
	名古屋東南	76	79	0	6	2	3	4	95.78%	6
	名古屋中	139	141	1	3	1	1	2	99.11%	0
	名古屋瑞穂	76	76	0	2	1	2	4	93.54%	0
	名古屋大須	67	68	0	1	0	0	3	97.89%	1
	名古屋栄	78	83	0	5	0	0	2	95.03%	0
	名古屋名南	82	84	0	2	0	0	4	97.08%	14
	名古屋名駅	99	106	1	10	0	3	4	93.12%	2
	名古屋西南	52	56	0	4	0	0	4	96.76%	7
	12RC	1,179	1,217	3	52	5	14		95.62%	30
クラブ 平均										
平均出席率		80	95.57							

地区内クラブ数 80RC	2003年7月1日会員数	5,477名	增加会員数 (累計)	159名
	当月会員数	5,566名 (内女性123名)	減少会員数 (累計)	70名
	当月平均出席率	95.57%	差引純増会員数 (累計)	89名



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2760